

図書館の想い出

産業福祉学科長 江尻 行男

最近、忙しくてゆっくりと図書館に行くことがなくなった。研究室も出入りが激しく、また電話も多いので、たまには静かな図書館に足を運びたいと思っているこの頃である。

私は大学に入学するまで、全くと言ってよい程図書室とか図書館には無縁であった。専ら野球部で甲子園を目指していた。しかし、大学に入り、体育系の野球を断念すると一転して文学系サークルの英語クラブ(ESS)に入った。全く英語ができなかったのであるが、どういう訳か、柄にもなく英語クラブに入ったのである。ESSの活動は英語で討論(ディベート)したり、スピーチや英語劇をやることであった。興味はあったが英語力がない私に、先輩達(特に女性)が何かと優しく指導してくださったりして、これまでに経験したことがないほどの楽しい雰囲気があった。それでもノルマがあるので自然に図書館に出入りするようになった。

図書館では、クラブの先輩や同級生が必ずと言ってよい程そこで勉強していた。気軽に声をかけ合ったり、教えていただいたり、図書館に行くことは、図書を借りるのではなくクラブ活動の延長みたいな時間であった。失礼ながら、大学に通学するのは講義ではなく、クラブ活動としての図書館での勉強のためであった。

多少ペチャクチャおしゃべりしても図書館の職員の方は大目にみてくださり、また親切であったので、益々図書館に通うようになった気がする。図書館通いは私の日常生活のサイクルに自然と組み込まれていった。

その後、大学院に入ると大学の図書館ばかりでなく、国会図書館や業界の専門図書館(証券図書館)に通った。特に証券図書館では、職員の方が何かとやさしく教えてくださったのがうれしかった。若者(学生)の図書館離れも耳にするが、ちょっとしたきっかけと図書館職員の気持ちよい対応があれば利用率はアップすると思う。それにしても、あの優しかった図書館の皆さんは今頃どうされているのでしょうか。感謝するとともに懐かしいこの頃である。



「図書館」にはいろんな種類があるのを知っていますか？

- ・国立図書館...日本の「国立国会図書館」は国民全体の利用に供するとともに、国会図書館の役割も併せています。
- ・公共図書館...地域住民すべてに、一般的な図書館サービスを提供する図書館。宮城県図書館、仙台市民図書館はこれに属します。
- ・学校図書館...小学校、中学校、高等学校、盲・聾学校、養護学校に設置されている図書館です。
- ・大学図書館...大学、短期大学、高等専門学校の図書館。調査・研究のサポートを担っています。
- ・専門図書館...特定の目的を持ち、その所属構成員を利用対象として設置される図書館。収集される資料も特定の専門分野に限定されます。会社、研究所、病院図書館など。

この他、主題別・対象者別などで分けられることもあります。江尻先生が行かれた図書館にもその分野に精通した司書がいて、研究のサポートをしてくれたことなのでしょう。私たちも皆さんに役立つ図書館にしていけるために日々努力しています。

司書のフロムナード

待ってました！『無口な本と司書のおしゃべり』に続く第2弾エッセイ。同じ司書(元司書になるのだろうか?)として大変うれしく、小躍りしたくなるようなそんな気分。図書館司書の魅力をたっぷり物語ってくれる心強い1冊。

この本のタイトルどおり、司書はまさに魔法的資質が問われる職業。なんと言っても書を司ると書いて『司書』なのだから、いつでもどこでもその魔法が使えなければ本物の司書とは言えないのです。そして常にその訓練が不可欠なのです。

パート1の「図書館をめぐる」では、司書としての日常とその資質と醍醐味を愉しく、かつ鋭く説いています。司書と言えば、カウンター奥で詰まらなそうな暗い顔をして、本好きだけ人間嫌いなそんな集団だと思われがちですが、この本はそんなイメージを一掃してくれます。さらに、『司書』って素敵な職業、だと思わずにはいられません。

パート2では、11冊の本と9本の映画についての書評と映評が綴られています。本を読む、あるいは映画を観るという行為は私が私であるためであり、一人静かに自分を見つめ直す一つの方法なのだと感じます。いい本、いい映画に出会うことは人との出会い同様、人生に光と栄養を与えてくれるものです。それぞれの小さな断片から浮かび上がってくる真理や普遍性あるいは言葉が私たちの目を啓かせ、希望の種を植え付けてくれます。

司書に興味のある人はもちろん興味のない人もとにかく愉しく読む1冊です。しかも、著者のサインのほしい方は図書館3階カウンターへ行けば貰えるという特典付き。ちなみに私はシェラ・クラブのメンバーです。

(八巻 千穂)



大島真理著
『司書はときどき
魔女になる』
郵研社、2006.4
¥1,365(税込)

所在：010.4 || オオ
学生用閲覧コーナー



図書館利用シリーズ 3

図書館 Q & A

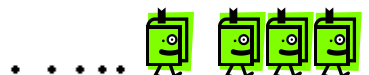
Q: 雑誌や新聞の古いもの(バックナンバー)をみたいのですが。。

A: 3F新着雑誌コーナーのバックナンバーは、1Fの書庫にあります。ただし、学部学生は書庫に入ることが出来ないため、OPAC検索で確認後、3Fカウンターまたは1F書庫カウンターにある「図書閲覧票」に必要事項を記入して、書庫カウンター係員に申し出てください。最新号以前のその年のバックナンバーであれば、3F雑誌架のボックスに入っていますので、自由に利用してください。

A: 図書館入口のブラウジングルームにある雑誌のバックナンバーも、過去1年分とその年のものであれば見ることができます。同じように書庫カウンターに申し出てください。

A: 新聞のバックナンバーは、書庫カウンター前の書架に日付順に整理して置いていますので、自由に見てください。

* 全ての雑誌・新聞は館内利用のみです。貸出は出来ません。欠号などがあると、他の利用者の迷惑になりますので、使い終わった雑誌・新聞は必ず元の場所に戻してください。



貸出の多い本



学関本・書庫本

1. 社会福祉の歴史 / 高島進著 / ミネルヴァ書房 / 1995
- 2 障害者の心理と支援 / 田中農夫ほか編著 / 福祉版 / 2001
- 3 学習の心理 / 実森正子, 中島定彦共著 / サイエンス社 / 2000
- 4 はじめて施設員に働くあなたへ / 日本精神薄弱者愛護協会編 / 1992
- 5 家族介護去入門 / 遊佐安一郎著 / 星和書店 / 1984

ベストセラー

1. ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団 / J.K.ローリング作 / 松岡祐子訳 / 静山社 / 2004
- 2 いま、会いにゆきます / 市川拓司著 / 小学館 / 2003
- 3 電車男 / 中野独人著 / 新潮社 / 2004
- 3 天使の梯子 / 村山由佳著 / 集英社 / 2004
- 5 東京タワー / 江國香織著 / マガジンハウス / 2001

平成 17 年度統計

図書館日記

-カウンターでの1コマ-
(カウンター当番編)

だんだんと暖かくなってきた今日この頃。それとともに図書館に増えてくるのが、ペットボトルなどの飲み物を持ち込む利用者である。以前、図書館を休憩室代わりに思っているのか、閲覧室で平然とランチを始めた学生がいて、驚いたことがある。

当然のことながら、図書館は飲食物持ち込み禁止（さらに言うなら携帯電話使用禁止）なのだが、これから夏にかけて、買って来たばかりと思いきコンビニ袋をぶら下げて入ってきたり、ペットボトル片手に入ってきたりする利用者が続出する。入口に大きく注意書きしてあるのに。。。

「図書館は飲食物持ち込み禁止です！カウンターで預かりますから、帰りに取りに来てください。」

カウンターに立つ職員は仕方なく、日に何度も口口にすることになる。

各種資料を収集・保存する図書館にとって、食べこぼし、飲みこぼしは命取りとも言うくらいの大問題。図書館も図書館資料も共有物 - ということをお忘れしないで、大切に活用して欲しいと思う。



図書館からのお知らせ

各種ガイダンスについて

- ・卒論・ゼミ論ガイダンス 5月8日(月)～5月12日(金)
- ・大学院生対象論文作成ガイダンス 5月15日(月)
- ・雑誌論文検索ガイダンス 5月16日(火)

がありました。

これから実施するガイダンスは、下記のとおりです。

参加ご希望の方は、3Fカウンターで申し込んでください。

- ・雑誌論文検索ガイダンス 10月17日(火)
- ・図書館ツアー 6月からの水曜日。ゼミ単位・個人で受付けています。普段入ることのできない書庫も案内しますので、興味のある方はぜひ参加してください。(＊ゼミ単位での前期分のツアーは全て埋まっていますが、後期分は、まだ余裕があります。)

貴重書庫の利用について

事前申込が必要になりました。利用希望の方は、3Fカウンターで申し込んでください。ただし、手続き上、当日の利用はできません。

DVDの利用について

連日利用が多く、なかなかDVDを利用できないという方のために、一人1日1回の利用になりました。また、複数でAV室を利用する際、人数分の学生証を預かることになりました。

人事異動がありました。

- ・八巻千穂 4月1日 図書館より教学部へ
- ・田上けい子 4月1日 就職部より図書館へ
他の部局で3年半修業して、4月に舞い戻ってきた田上です。皆さんが出会う図書の入力の仕事をもくもくとしているもくろく(目録)係を担当しています。

スタッフ紹介 part.3(パート・アルバイト)



はじめまして。本学3年生の沢あゆみと言います。今年度から図書館で働かせていただくことになりました。始めてからまだ2ヶ月しか経っていませんが、徐々に仕事にも慣れてきました。今後も図書館を利用する方々の役に立てる様、頑張っていきたいと思えます。

社会教育学科3年 沢 あゆみ

春からアルバイトの一員になりました。図書館で働くのが憧れだったので、毎日がとても充実しています。でも、書庫カウンターでボツンと一人でいて寂しいこともあるので、皆さん書庫をたくさん利用して下さい。

社会教育学科3年 佐藤 千枝

4月からアルバイトとして入りましたキンノと言います。事務室に居る事が多いですが、これからよろしくお願ひします。

金野 裕生

編集後記

今回は、産業福祉学科長の江尻先生にご協力いただきました。ありがとうございました。

この「としょかんぼう」を発刊するにあたってリーダー的存在であった八巻さんが、異動となってしまいました。一緒に創り上げたこの「としょかんぼう」を、私たちに大切に育てていきたいと思ひます。

熊谷・石川・稲妻

東北福祉大学図書館報「としょかんぼう」 3 2006年6月

編集・発行 東北福祉大学図書館 〒981-8522 仙台市青葉区国見1-8-1

TEL:022-717-3319 FAX:022-717-3309

E-mail: lib@tfu-mail.tfu.ac.jp

http://www.tfu.ac.jp/libr/tful.html